

コロナに負けるな！ 地域住民の方々の 元気を取り戻そう！



コミュニケーションから笑顔や笑い声が自然とあふれていました。

去る7月9日、本学リハビリテーション科学部の講義「地域包括ケア演習」の一環として地域住民に対するミニイベントを開催しました。このイベントは「介護予防フェアinとうべつ」として、本学部発足以来継続実施して今年で5回目となりました。

例年、当別町公認キャラクターを招いたり、学生たちが試食コーナーを設けたりと、多くの住民で賑わうイベントとなっていますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、一時は開催も危ぶまれました。しかし、お互いが対面できない中でもプログラムの工夫や打ち合わせなど、学生たちの様々な創意と工夫により、地域住民20名をお招きし感染対策に留意しながら楽しいひと時となりました。

学生による健康講話、体操、脳トレを兼ねたレクリエーションなど学生たちが日々学ぶリハビリテーションの知識を活かした内容を実施。参加された高齢者の方は、「学生さんのはつらつとした姿に、元気をもらえました」と笑顔で話してくださいました。

リハビリテーション科学部では、本科目以外の講義や演習を通じて地域住民の方々と様々な交流機会があります。これからも、講義を通して当別の方々の元気のお手伝いに取り組んでまいります。

地域の
みなさんに
喜んでもらえました！

